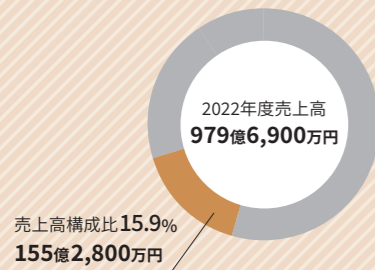


## セグメントの概況

# 輸送用機器・鉄構事業

Transportation Equipment and Steel Structure

### 売上高構成比

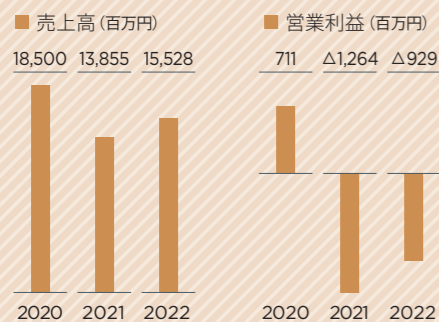


### 業績ハイライト

輸送用機器におきましては、無人搬送装置の売上が2021年度に比して増加しました。鉄構におきましては、夢洲北高架橋、菅ヶ谷高架橋支取替工事、桜町交差点横断歩道橋などの売上があり、官公庁向けの道路橋の売上が2021年度に比して増加しました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は15,528百万円となり、2021年度に比べ12.1%増加となりました。

### 過去3か年の売上高・営業利益



## 事業内容 [主要製品]

輸送用機器事業は、タンクローリ、タンクトレーラ、タンクコンテナ、貯槽、大型自走式キャリア、大型無人搬送車、貨車などの設計・製造・販売を行っています。LPガスなど資源・エネルギーを運ぶタンクローリをはじめ、製鉄所構内で大型コイルなどの重量物製品を運搬するキャリアや無人搬送装置、鉄道貨物輸送を担う貨車など、どの製品も社会インフラにはなくてはならないものです。お客様に密着し、様々な用途での細かなニーズに最大限に応えることで、いずれの製品も高いシェアを誇っています。特にLPガスを集合住宅等に配送する民生用バルクローリのシェアは70%を超え、製造台数は業界ナンバーワンです。

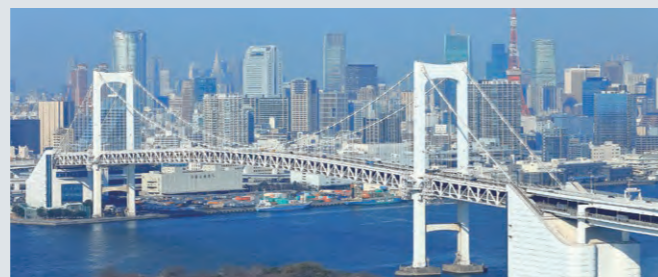


民生用バルクローリ



AGV

鉄構事業は、道路橋・鉄道橋などの鋼橋の設計・製造・架設を行っています。古くは明治時代から現在に至るまで、全国3,000以上の橋を架け、レインボーブリッジや明石海峡大橋などの長大橋の工事にも参画、日本の社会の発展に貢献してきました。近年では、東海道新幹線の大規模改修工事も担い、その施工技術を道路橋の補修にも活かしています。社会インフラの老朽化対策が重要視される中、今後益々需要の高まる補修・保全事業にも注力しています。



レインボーブリッジ

Railway Rolling Stock

輸送用機器・鉄構事業  
Transportation Equipment and Steel Structure

Construction Equipment

Engineering



執行役員 輸機・インフラ本部長 片桐 衆

輸送用機器事業では、主力の高圧ガスタンクローリや大型自走式キャリアを中心に、市場ニーズを捉えた新製品の投入や新技術の導入に向けた技術開発を進めてまいります。また、競争力の強化と新規お客様の開拓に努めてまいります。

鉄構事業については、新設橋梁では、引き続き技術提案能力の強化に努め、受注量を確保し、補修・保全分野では、東海道新幹線の大規模改修工事における橋梁補修の工事実績を通じて蓄積したノウハウを活かして道路橋の補修・保全工事の受注拡大に努めてまいります。

2022年度は営業損失を計上しましたが経営改善に向けた取組みの成果が徐々に表れ始めておりますので、引き続き売上の拡大とコストの低減を図り、損失改善に努めてまいります。

## 大型自走式キャリアの無人運転化

構内(工場内)輸送の運転手不足の課題対応策として大型自走式キャリアの無人運転の開発に着手しております。

これまで大型自走式キャリアの無人運転に必要な基礎技術を開発し、構内で運用されるキャリア特有の様々な環境での検証やパレット輸送の実現を目指し、机上でのシミュレーションからさまざまな試験を継続して実施しています。

車両への実装、構内輸送の現場への早期投入を目指し、商品化に注力してまいります。



## 菅ヶ谷高架橋支取替工事

高速道路各社は、老朽化に対応したリニューアル工事を全国各地で進めています。補修工事では、現地の状況に配慮した設計、施工が求められます。本工事では、東名高速道路の菅ヶ谷高架橋他3橋の橋桁を支える支承の取替工事を実施しました。その内の高御所橋は、東海道本線・新幹線の2つの鉄道を跨ぐ橋であり、特に新幹線と近接する箇所においては、営業列車の運行がない深夜の限られた時間での施工が求められましたが、無事故無災害で工期内に完遂しました。今後も社会インフラを造る、そして、「守る」で貢献してまいります。



## 脱炭素

当社は、2050年カーボンニュートラルに向けて更なる電動化の研究を開始しております。これまで当社では環境対策のひとつとして駆動を油圧から電動(ディーゼル発電)へ、その後、環境対策につながる燃費向上を目的にディーゼル発電と蓄電池によるハイブリッドシステムを開発しました。今後は商品化を進め、将来的には燃料電池他、新しい電源の採用も検討してまいります。



## 橋梁長寿命化

橋梁の老朽化対策が叫ばれる中、橋梁の長寿命化技術として塗料メーカーと協力し、コーティング塗料「ソルトレスクリヤー」を開発しました。このコーティングにより塗膜劣化を防止、長寿命化した塗膜が塩害から橋を守り、橋の長寿命化が実現します。本技術を使い、社会インフラの維持に貢献していきます。

